

授業アップデート 【記入例】

氏名 []

校内研究の主題

「わかる・できる・楽しい」が実感できる授業を目指して～子どもの意識の流れと手立てを大切にしてみんなでつくる授業～

目指す児童生徒の姿

・めあてをもって学習する姿 ・書くことが好きな姿 ・よく考えて説明できる姿 ・自分から学ぼうとする姿

重点的に目指す資質・能力

算数科における知識・理解の確実な定着

授業に関する自分の強み・課題

強み ICTの活用 1時間の学習の足あとが分かる板書

課題 話しすぎてしまう。子どもの疑問やつぶやきから授業を展開していくこと。

校内研究で大事にしている視点に基づいて、記入してみましょう。



日付	校内研究 授業実践	自分のめあて 今、気になっていること	学んだこと (印象深い児童生徒の様子・新たな知見など)	具体的に取り組みたいこと (時・場・方法など)	自己評価 (成果・進捗状況など)
4/14 (水)	校内研究会①	・本校の研究主題をつかむ。 ・自分の役割や分担を確認する。	・「読み解く力」を育む授業づくりについて実際の授業の動画を見ることで、イメージがわいた。 ・授業づくりのステップが分かった。	・子どもの意識の流れを大切にしたい授業づくりに取り組みたい。 ・5月の2年生の研究授業づくりに積極的に関わりたい。	・発問や学習課題についてより考えるようになった。 ・「授業づくり委員会」に参加し、学んだことを自分の授業の中で試している。
5/26 (水)	授業研究会① 2年生の 授業研究会	・本時のねらいにせまる発問	・学びの足あとが分かる掲示物が有効だと分かった。 ・本時のねらいをしぼることで、評価や発問、展開が変わるということ。 ・「めあて」に合わせて、自分の言葉で振り返りを書くことができていた。	・児童が「やりたい」「考えたい」と思えるような課題・問題にする。 ・既習の学習との関連や今後の学習への発展など、学びのつながりを意識したい。 ・普段から児童が量について意識できるように指導や関わりを大事にしたい。	・学級の児童にとってより身近な課題や問題にするようにしている。 ・単元の系統性を確認するようになった。 ・量についての感覚を豊かにする具体物を作成する。
6/16 (水)	授業研究会② 特別支援学級の 授業研究会	・自学級で生かせる支援の方法	・本時、今、次にすることが一目で分かるように示されているので、児童が安心して学習に取り組んでいた。 ・楽しい活動が多かった。 ・単元について「何を学ばなければならないか」を明確にすることが大事だと分かった。	・学習の見通しをもてる掲示物をつくる。 ・ゲーム性を取り入れながら、「やりたい」場面をつくる。 ・「学んだことを生かす(実践する)」という視点で授業を振り返る。	・国語、総合的な学習で、単元計画表を作って掲示した。 ・できるだけ自分の話す機会を増やしたい。 ・授業を振り返る際に、授業を振り返るようになっている。
7/20 (火)	授業づくり委員会	めあてをもつ	学ぶ	学んだことを生かす(実践する)	振り返る
8/18 (水)	夏季校内研究会	・学力・学習状況調査の問題や結果の分析、授業で大切にすべきこと	・子どもになったつもりで解くこと ・適応問題・授業の流れがイメージ	・解き方の説明をする学習活動	・説明をする学習活動を振り返るためには、学習課題や発問をもっと吟味する必要がある。
9/29 (水)	授業研究会③ 4年生の 授業研究会	・考えてみたくなる工夫 ・ICTの効果的な活用	本時で目指している「自分なりにさらに考える姿」に迫ることができた。	・子どもの考えを映して全体で共有したい。	・学年全体のノートの写真や動画を算数の学習に活用している。他の教科の学習でも使えそうだ。
10/6 (水)	個に応じた指導について 3年生少人数の 授業	・少人数指導での丁寧な支援	・積極的な評価(言葉かけ、ノートへの丸や線、コメントの記入) ・考えたくなる発問や指示	・全体への発問と個別の言葉かけを考える。 ・子どものつぶやきを全体に広げ、さらに考えるきっかけにする。	・子ども意識の流れを想定することがやはり大切である。本時のねらいに沿って子どものつぶやきを拾うように努めている。
10/27 (水)	授業研究会④ 6年生の 授業研究会	・子どもの発言やつぶやきの活用 ・ICTの効果的な活用	・子どもの言葉を使った、全体の本時の学習のまとめ。 ・意思表示が苦手な子も、タブレットを使うと全体に発信できる。	・本時のキーワードと子どもから出てきた言葉を使って学習のまとめをする。 ・子どもがタブレットで写真を撮り、それを基に伝え合う学習活動を仕組む。	・単元や授業を考えると、単元や本時の「キーワード」についても併せて考えるようになった。 ・国語、算数、体育、総合的な学習の時間に取り入れている。有効である。
11/10 (水)	5年生の授業	・子どもたちが主体的に取り組むことができる適応問題	・適応問題が振り返りの代わりになる。	・適応問題を複数用意し、子どもが自ら選んで取り組めるようにしたい。	・内容や時間を考えて、複数の適応問題を用意するようにしている。

このサイクルを意識して取り組めるとよいですね。



